

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【公開番号】特開2002-214658(P2002-214658A)

【公開日】平成14年7月31日(2002.7.31)

【出願番号】特願2001-10306(P2001-10306)

【国際特許分類】

G 03 B 5/00 (2006.01)

【F I】

G 03 B 5/00 G

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月9日(2008.1.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 カメラの振動状態を検出する振動検出センサと、

上記振動検出センサの出力と、上記振動検出センサの出力とは異なる所定の信号出力に基づき信号の差動增幅を行なう信号增幅部と、

上記信号增幅部の出力をサンプリングする信号サンプリング部と、

上記信号サンプリング部のサンプリング結果から、上記信号增幅部の出力レベルを変更するか否かの判断を行なう判断部と、

上記判断部の判断結果に応じて、上記信号增幅部の出力レベルを変更するために所定の信号出力を行なうレベルシフト変更部と、

上記振動検出センサによるカメラの振動状態の検出を終了する際に、上記レベルシフト変更部が出力していた所定の信号レベル情報を記憶する記憶部と、

を具備することを特徴とする振動検出装置。

【請求項2】 上記レベルシフト変更部は、少なくとも振動検出の開始時には上記記憶部の記憶情報に基づいて、上記信号增幅部の出力レベルを変更するために所定の信号出力を行なうことを特徴とする請求項1記載の振動検出装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するために、本発明の第1の態様に係る振動検出装置は、カメラの振動状態を検出する振動検出センサと、上記振動検出センサの出力と、上記振動検出センサの出力とは異なる所定の信号出力に基づき信号の差動增幅を行なう信号增幅部と、上記信号增幅部の出力をサンプリングする信号サンプリング部と、上記信号サンプリング部のサンプリング結果から、上記信号增幅部の出力レベルを変更するか否かの判断を行なう判断部と、上記判断部の判断結果に応じて、上記信号增幅部の出力レベルを変更するために所定の信号出力を行なうレベルシフト変更部と、上記振動検出センサによるカメラの振動状態の検出を終了する際に、上記レベルシフト変更部が出力していた所定の信号レベル情報を記憶する記憶部と、を具備する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、本発明の第2の態様に係る振動検出装置は、第1の態様に係る振動検出装置において、上記レベルシフト変更部は、少なくとも振動検出の開始時には上記記憶部の記憶情報に基づいて、上記信号増幅部の出力レベルを変更するために所定の信号出力を行なう。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】